

# リトマス試験紙

リトマスゴケから得られるリトマス色素をろ紙にしみこませたもの。

変色域は広く、 $\text{pH} 4.5 \sim 8.3$ で、酸性側で赤、中性付近では紫、塩基性側では青色を示す。

赤色リトマス紙、青色リトマス紙は、リトマス色素のアルコール溶液に塩酸、アンモニア水を加えてろ紙に浸した後に乾燥させたもので、時間がたつと退色する。

- (1) リトマス試験紙に直接手で触れないで、ピンセットで取り出す。
- (2) 調べる溶液をガラス棒で試験紙の端の方につける（試験紙を直接検査溶液に入れない）。溶液をつけた直後の色で判断する。
- (3) 調べる溶液ごとにガラス棒をよく洗い、ペーパータオルなどで拭く。
- (4) 試験紙を小さく切ったり、試験紙の両端を使うなどして1枚で2回以上使うことができる。